



日本医学会だより

JAMS News

日本医学会 2004年5月 No.31

高久史磨会長就任挨拶

日本医学会は、森 亘前会長のもとで12年間にわたり、車の両輪として日本医師会との協調を図り、発展を遂げてきた。後任としてこの4月から就任し、非常にその責任の重さを感じている。21世紀初頭の時代の変遷の中で、今後の日本医学会のあり方を考える意味で、あり方委員会を発足し、どのような方向性をもって進めていくべきかを検討したいと思っている。社会的にも日本医学会に期待する声が聞こえており、医学・医療をめぐる諸問題に、今後どのように対応していくべきかをも考えたいと思う。各分科会会員諸氏のより一層のご協力・ご支援をお願い申し上げる。

□第71回定例評議員会

第71日本医学会定例評議員会が、平成16年2月24日に開催された。議題としては、報告事項に、①日本医学会総会(第26回日本医学会総会終了報告、第27回日本医学会総会準備状況)、②2003年度年次報告。協議事項に、①2004年度事業計画、②2003年度新規加盟学会、③会長、副会長、幹事の選挙などがあげられた。

新規加盟学会については、2003年度は日本高血圧学会が加盟した。また役員選挙では、会長：高久史磨、副会長：岸本忠三(基礎系)、小泉 明(社会系)、出月康夫(臨床系)の各氏が選出された。任期は平成16年4月1日から18年3月31日まで。

□第27回日本医学会総会

第27回日本医学会総会は、岸本忠三会頭のもと、大阪にて、2007年4月6日(金)～8日(日)に、大阪国際会議場(グランキューブ大阪)などにて開催予定である。メインテーマ

には、「生命と医療の原点：いのち・ひと・夢」を掲げた。近年、科学としての医学は著しく進歩し、先進医療が叫ばれる中、人に対する温かい心を失いつつあるのではないかとという危惧がある。「いのち」とひらがなで書かれているのは、単に遺伝子情報の発露としての生命単位ではなく、「大切ないのち」「愛されるいのち」といった社会的・宗教的な概念まで含めた「いのち」である。また「ひと」は、「個性のある“ひと”という存在」、「社会の中の“ひと”」を意図する。「夢」は、「幸福を象徴化したビジョン」を意味し、医学医療の今後の発展が、来る次世代の人々の幸せ、すなわち「夢」に結びついてほしいという願いが込められている。

□第126回日本医学会シンポジウム

平成16年6月24日(木)(10:00～17:00)、日本医師会館において「アレルギー・アトピー性疾患」が開催される。参加希望者は、日本医学会に郵便はがきで申し込まれたい(参加費無

料)。また11月頃にはシンポジウム記録集を刊行予定なので、希望者は郵便はがきで申し込まれたい(謹呈)。

プログラムの概要は、下記のとおり。

I. アレルギー・アトピー性疾患と遺伝子

1. アレルギー・アトピー性疾患の疫学と遺伝子解析/白川 太郎(京大・健康増進・行動)
2. アレルギー・アトピー性疾患における網羅的遺伝子発現解析/斎藤博久(国立成育医療センター研)
3. 気管支のリモデリングと遺伝子多型/大田 健(帝京大・内科)

II. アレルギー性疾患とサイトカイン/転写因子

1. サイトカインとアレルギー性疾患/善本知広(兵庫医大・免疫・医動物)
2. ケモカインとアレルギー性疾患/平井浩一(東大・生体防御機能)
3. 細胞内シグナル伝達とアレルギー性疾患/久保允人(理研免疫・アレルギー科学総合研究センター)
4. アトピーにおけるIgE受容体発現異常の遺伝子解析/西山千春(順天大・アトピー疾患研究センター)

III. アレルギー性疾患の治療の将来展望

1. アトピーと皮膚のバリア機能について/光石幸市(順天大・アトピー疾患研究センター)
2. 腸管粘膜免疫とアレルギーの制御/石川博通(慶應大・微生物・免疫)
3. DNA免疫法によるアレルギー性疾患の治療/佐野公仁夫(東北大・感染病態)

□第127回日本医学会シンポジウム

標記シンポジウムは、「医療安全の科学」をテーマに、平成16年8月27日(金)～8月29日(日)の間、パレスホテル箱根で開催の予定。

クローズド形式のため、参加者は招待された方に限られる。シンポジウム記録集を、2月頃に発行の予定。希望者は、郵便はがきで申し込み下さい(謹呈)。

□日本医学会への加盟申請

平成16年度の日本医学会への新規加盟申請については、5月15日に公示(日本医師会雑誌等)し、7月31日に締め切る。申請書は、日本医学会に請求されたい。

□医学賞・医学研究助成費

平成16年度日本医師会医学賞・医学研究助成費の推薦依頼を日本医師会雑誌の5月15日号に公示する。それぞれの要項概略は以下のとおり。詳細は本会事務局に問い合わせられたい。

医学賞：1. 日本医師会会員で、医学上重要な業績をあげた研究者を対象とする。2. 基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ計3名に授与する(副賞は1名500万円)。3. 推薦は、日本医学会分科会長、大学医学部長・医科大学長、関係機関長により各部門1名以内。

医学研究助成費：1. 日本医師会会員が行う医学上将来性に富む研究を対象とする。2. 基礎医学・社会医学・臨床医学を通じ15件に授与する(1件150万円)。3. 推薦は、日本医学会分科会長、大学医学部長・医科大学長、関係機関長により各部門1件以内。

□情報発信

日本医学会の情報は、ホームページをご覧ください。各分科会の状況を掲載すると同時に、各分科会の協力を得て、本会のホームページから各分科会のホームページにリンクしている。また、日本医学会シンポジウム記録集なども掲載している。

本会のアドレスは、下記のとおり。

<http://www.med.or.jp/jams/>